



令和4年12月1日

くまのみずき

回覧

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第9号

12月になりました

旧暦ではそろそろ大雪に入る季節、紅葉シーズンも終わりに近づいています。近くの山々も雪の衣を纏って冬の姿に変わります。富士山の雪の裾も、だいぶ下へと伸びてきました。いよいよ12月に入りました。21日には「冬至」で、1年のうちで最も昼が短く夜が長い日になります。冬至には、寒さの厳しい冬を乗り越えるため、かぼちゃを食べ、ゆず湯に入るとよいといわれています。

新型コロナウイルスの感染状況は、今もって心配です。11月22日（火）の生徒総会も感染防止の観点から、各教室でオンラインで実施いたしました。まもなく冬季休業に入りますが、ご家庭でも感染対策をお願いいたします。

3年生は、自分の進路を決定していく時期となりました。11月より校長面接も始まりました。校長室へ入室してくると、みんな緊張した面持ちで質問に対して一生懸命答えています。面接後の私のアドバイスも真剣にメモをとっています。その姿を見て、頑張れ！と心から応援したくなります。

職場体験学習

11月17日（木）に2年生は、キャリア教育の一環として職場体験学習をおこないました。昨年度はコロナ感染拡大の影響で、実施できませんでしたが、今年度は、48の事業所に体験を受け入れていただきました。2学年の職員は挨拶と写真撮影のために、手分けをして全ての事業所に伺わせていただきました。生徒は、授業中に見せる姿とは異なり、緊張した面持ちで、目を輝かせて体験学習をしていたようです。生徒たちは、「働く」ということを直に体験できました。将来の自分の夢に繋がってくれることを願っています。



茅ヶ崎寒川地区中学校美術作品展

地区中学校美術作品展が茅ヶ崎市美術館で行われています。11月12日（土）～12月4日（日）まで開催されています。10時から17時までです。北陽中生の作品は、130作品展示されています。

出品作品

- 3年生
 - 「美術室にいる、もう一人の自分」（2年次制作） 15作品
 - 「自画像～私の世界～」 29作品
 - 「絵が動き出す！」（2年次制作） 13作品
- 2年生
 - 「お気に入りをも版画に」 12作品
 - 「文様のある暮らし」（1年次制作） 10作品
 - 「都道府県を正しく伝えよう」（1年次制作） 14作品
- 1年生
 - 「絵文字がしゃべりだす」 31作品
- I組
 - 「スチレン版画～まる・さんかく・しかく～」 6作品



作品展には、茅ヶ崎寒川地区に16校ある中学校の、美術の授業中に作成された作品の一部が展示されています。学校ごとに授業で扱っている内容が異なり、様々な中学生の作品に触れることができます。訪れてみて中学生の豊かな感性に驚かされました。もしお時間があれば、まだ開催中ですので訪れてみてはいかがでしょうか。

お知らせ

現在、市内中学校では、5校で基準服の変更が決定し、準備が進められています。本校でも今年度より基準服の見直しを含めた検討を進めていくこととなりました。

学校長を含む本校職員と保護者の代表で12月23日（金）に基準服検討のため、制服業者3社によるプレゼンテーションを受けます。窓口を1社に絞っていきます。①LGBTQへ対応、②基準服のデザインの検討、③機能性の重視（耐久性、伸縮性、撥水性の向上と洗濯可能な素材）、④経済的な費用の削減、という観点から変更の検討が必要であると判断いたしました。ジャージや体操着は現在のものを継続させていく予定です。来年度から基準服検討委員会を立ち上げ、令和6年度から緩やかに変更していく計画です。一定年数旧基準服の使用猶予期間も設置します。令和5年度からじっくりと時間をかけて検討してまいります。保護者の皆様にもご意見を拜聴する機会があると思います。ご理解とご協力をいただければ幸いです。

全国学力・状況調査結果分析

4月に3年生を対象とした全国学力・状況調査の結果・分析を行いました。今回は教科についての分析をお伝えいたします。「生徒質問」についての結果・分析については次号でご報告いたします。

教科ごとに、力を発揮した内容(◎)と、課題が感じられた内容(▲)を2つずつお示しました。課題が感じられた内容については、今後、学習の充実を更に図ってまいりたいと思います。

国語

- ◎「話の進め方のよさを具体的に説明したのものとして適切なものを選択する問題」の正答率が高く、論理の展開を正確に把握することができている。
- ◎「話の展開に沿って主人公の行動や心情を並べ替える問題」の正答率が高く、登場人物の心情の変化を、本文の描写をもとに捉えられている。
- ▲「文脈に即して漢字を正しく書く問題」や、「行書の特徴を捉える問題」の正答率が低く、知識事項の確実な定着が課題であると考えられる。
- ▲「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く問題」の正答率が低く、授業の中で積極的に自分の考えを書く活動を取り入れ、継続的に指導をする必要がある。

数学

- ◎ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想したことを表現する問題において、結論が成り立つための前提を考え、新たな事項を見だし、説明することができる。
- ◎ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選び、反例の意味を理解している。
- ▲図形領域の問題において、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率がすべての問題の中で最も低かった。
- ▲素因数分解や箱ひげ図の問題の正答率が低く、1、2年次に学習した内容の定着が不十分で、定期的に復習する必要がある。

理科

- ◎日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を理解し、静電気に関する知識及び技能を活用できている。
- ◎節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できている。
- ▲化学変化に関する知識及び技能と、エネルギーを柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせる基礎として必要なものを分析・解釈に課題がある。
- ▲考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善することを苦手とする生徒が多かった。

秋の大会結果

- 卓球部 湘南大会 会場
11月3日（木） 女子1年生の部 第3位 重松さん 県大会出場決定
- サッカー部 新人戦
10月29日（土） 梅田中会場 2回戦 対松林中 0-1
柳島スポーツ公園会場 合同チーム 対寒川中 0-9
11月3日（木） 一中会場 5位決定戦 対西浜中 3-0
- ソフトテニス部 県大会 横浜市三ツ沢公園テニスコート会場
11月3日（木） 1回戦 対鷹取中 4-1 2回戦 対秦野南中 0-4





くまのみずき

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

令和4年12月23日

回覧

第10号

令和4年度全国学力・学習状況調査 回答結果分析【生徒質問紙】報告

4月18日(月)に3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。今回は「生徒質問紙」の回答結果の分析をしましたのでご報告させていただきます。

※『肯定的な回答』とは、「あてはまる(している)」と「どちらかといえばあてはまる(している)」の回答の割合の合計を示しています。

- (1) 朝食を毎日食べていますか
- (2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

(1)～(3)は生活習慣についての質問です。「朝食を食べてくる」生徒の肯定的回答がほぼ100%に近い結果が出ています。「ほぼ同じ時間に寝る」は約80%、「ほぼ同じ時間に起きる」生徒が約90%で、全国平均とだいたい同じくらいですので、毎日規則正しく健康的な生活を送ることができていると考えられます。



(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

(5) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

(6) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間は除く)

(4)～(6)はスマートフォンやゲームについての質問です。保護者との約束を守っている生徒は60%と全国平均を大幅に下回っています。1日の使用時間については、4時間を越える生徒が(5)については約5%、(6)については約11%となっています。生活習慣が不規則になってしまう要因の1つになる可能性があります。

- (7) 自分には、よいところがあると思いますか
- (8) 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか
- (9) 将来の夢や目標を持っていますか

(7)、(8)は約75%～85%の生徒が肯定的な回答で、全国平均とほぼ変わらない結果です。(9)については、肯定的な回答が低い水準にありました。今後も夢に向かって少しずつ努力することや、「やり遂げた」と思える成功体験を重ねることで、自己肯定感の向上を図っていききたいと思います。

- (10) 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
- (11) 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

2つの質問に対して、全国平均よりもやや下回る数字です。「挑戦する」気持ちを大切にしたり、仲間の失敗を受け止めるなど、あたたかな人間関係の構築や失敗を成長のきっかけと捉え、生徒の心に寄り添い支援をすることで、失敗を恐れずに挑戦する姿勢を育てていききたいと思います。

- (12) 人が困っているときは、進んで助けていますか
- (13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- (14) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- (15) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

(12)、(13)、(15)はどれも90%前後で生徒が肯定的な回答をしています。生徒の大半が、困った人は助けるべきだと考え、いじめをいけないことと認識し、人の役に立ちたいと願っています。今後もこの生徒

の善良な心をさらに大切に育てていきたいと思えます。(14)については約2割の生徒が、当てはまらないと回答しています。重要な課題として受け止めております。

(16) 学校に行くのは楽しいと思えますか

多くの生徒が楽しいと感じている反面で、楽しいと感じていない生徒が約30%います。学校に行くことを楽しいと感じられるように、授業や行事をはじめとして、どのような支援が必要なのかを学校全体で考え、改善を図っていききたいと思えます。

(17) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか

(18) 友達と協力するのは楽しいと思えますか

新しい学習形態についての質問です。肯定的な回答が(17)は全国平均約77%、(18)は全国平均約94%よりやや低い結果です。コロナ禍の授業で、言語活動を伴う学習やグループ活動が思うようにできていない状況がありますが、90%の生徒が友達との協働的な活動を楽しんでいるので、コミュニケーションスキル指導を通して、生徒の資質・能力の向上に取り組みたいと思えます。

(19) 家で学校からの課題でわからないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)

(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)

(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

(19)～(22)は家庭学習に関する質問です。(19)では、自分で調べる・友達に聞く・家族に聞く・先生に聞くの順番になっています。先生に聞く機会を増やしてほしいと思えます。(20)では、肯定的な回答が全国平均より10ポイント以上低くなっています。家庭学習を計画的に取り組んでいくことに課題があります。(21)では2時間以上勉強している生徒は約半数おり、全国平均を大きく上回っています。(22)では2時間以上勉強している生徒が半数近くおり、全国平均とほぼ変わらない数字となっています。(21)、(22)で共通していることは全くやらない生徒が少なからずおり、勉強している生徒と勉強していない生徒の格差が大きいことがうかがえます。

(23) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

(24) あなたの家には、およそどのくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)

(25) 新聞を読んでいますか

(26) 読書は好きですか

(23)～(26)は読書に関する質問です。(23)では1時間以上が27%でした。(24)の蔵書数は全国平均よりも多いことがわかりました。(25)は新聞をほとんど読まない生徒が約75%でした。(26)では、ほぼ7割の生徒が肯定的な回答をしています。

(27) 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか

(28) 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く)

(29) 今住んでいる地域の行事に参加していますか

(30) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

(31) 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数回答)

(27)～(31)は地域に関する質問です。(27)では、約半数が「よくある」・「ときどきある」と回答しています。(28)では、「よくある」・「ときどきある」が2割ほどになっています。地域行事が盛んな学区だと思われることもあり、コロナ禍でほとんどの行事が中止となったことを考慮しても全国平均をやや上回っています。(30)では、肯定的な回答が約40%ほどになっています。今後とも地域の行事が実施される場合には、積極的に参加を呼びかけていきたいと思えます。(31)では、「家でテレビ・動画・ゲーム・SNS」・「部活動」・「家族と過ごす」・「友達と遊ぶ」の順に回答が多くありました。

(32) 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか

(33) 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)

(34) 学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っ

ていますか

(35)学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

(36)学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

(37)普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか

(32)～(37)はICTに関する質問です。(32)～(35)の質問では、週に1回以上という回答が、それぞれ約90%、65%、50%、35%となっています。(33)は全国平均より低い結果でしたが、他の質問では全国平均を上回っています。一人一台のタブレットPC配備の成果が徐々に現れているという印象です。今後もICT機器の積極的な活用を推進し、生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと思えます。(36)では、およそ9割の生徒が肯定的な回答をしています。(37)では、最も多い回答が「30分より少ない」で半数近くを占めていました。

(38)1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

(39)1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

(40)1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

(41)1, 2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか

(42)1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

(43)学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

(44)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

(45)総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

(38)～(45)は学校における学習活動に関する質問です。(38)については、約80%の生徒が肯定的な回答をしており、全国平均を大きく上回る結果となりました。今後はタブレットを利用した発表との兼ね合いをどのようにしていくのが、学校の課題となっていきます。その他、(41)、(45)もそれぞれ約75%、約80%と全国平均を上回っています。(39)・(40)・(43)・(44)の回答については全国平均と5%以内の差になっています。(42)については全国平均より低くなっています。この結果を踏まえて、今後も全教職員で校内研究・研修に取り組み、生徒が主体的に学ぶことができるように授業改善を推進していきたいと思えます。

(46)あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

(47)学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

(48)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

(46)～(48)は学級活動に関する質問です。コロナ禍の感染防止対策で話し合い活動が思うようにできていないことが、肯定的な回答が全国平均に比べ低調な原因の1つと考えられます。今後、コロナの感染状況を踏まえながら、学校行事や学活・道徳などを通して、学級での話し合い活動を推進してまいります。

(49)国語の勉強は好きですか

約50%の生徒が「どちらかと言えば当てはまらない・当てはまらない」と回答しました。全国平均を大きく超えた回答であり、国語の勉強は大切だと思うが、好きではないという、認識と意識に差異が生じています。

(50)国語の勉強は大切だと思いますか

(51)国語の授業の内容はよく分かりますか

(52)国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(50)～(52)は国語の必要性に関する質問です。(50)、(52)の質問では、約90%の生徒が、肯定的な回答をした。授業で学習したことは将来的に役立ち、大切であるという意識は高いものがあります。(51)の質問では65%の生徒が肯定的な回答をしましたが、国語の重要性を感じながらも、授業の内容が難しいと自覚している生徒が多いので、どのような手立てが有効であるかを、引き続き教科担当で考えていきます。

(53) 数学の勉強は好きですか

約65%の生徒が肯定的な回答をしました。全国平均を超えた回答でした。

(54) 数学の勉強は大切だと思いますか

(55) 数学の授業の内容はよく分かりますか

(56) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(57) 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

(54)～(57)は数学の必要性に関する質問です。(54)の質問では、約90%の生徒が、肯定的な回答をしました。数学の必要性を実感している生徒が多いということがわかります。その一方、(56)の質問では、約3割の生徒が「どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」と回答しており、数学の授業は大切だと理解していながらも、社会に出てから役に立つと実感していない生徒もいることがわかります。将来数学や数学的な考え方が役に立つ場面を授業で取り上げるなど、引き続き教科担当で考えていきます。(55)の質問に対して約70%の生徒が肯定的な回答をしています。教員の授業力向上・授業改善に取り組んでまいります。(57)については、約半数を超える生徒が「どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」と回答しました。授業を構成していくうえでの課題です。

(58) 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

(59) 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

(60) 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

(58)～(60)は数学に対する主体的な探究心についての質問です。肯定的な回答が(58)で約75%と、授業での学び合いを通していろいろな考え方を身につけ、活用しようとする様子がうかがえます。

(59)は約65%で公式のみを覚えるのではなく、なぜそのようになるのかを論理的に考えようとする様子がうかがえます。(60)は約80%で自らの考えを順序立てて丁寧に表現しようとする様子がうかがえます。

(61) 理科の勉強は好きですか

肯定的な回答は、約65%となり、全国平均とほとんど差がありませんでした。

(62) 理科の勉強は大切だと思いますか

(63) 理科の授業の内容はよく分かりますか

(64) 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

(65) 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(62)～(65)は、理科の必要性に関する質問です。(62)、(63)は約75%。(64)は約55%。(65)は約60%が肯定的な回答をしています。いずれにしても全国平均とほとんど差はありませんでした。

(66) 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか

肯定的な回答が、約25%で、全国平均をやや上回る結果となりました。

(67) 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

(68) 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか

(69) 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか

(67)、(68)の肯定的な意見は全国平均を大きく下回っています。見通しを立て、結果に対してどのように考察していくか考えていく授業の構築が必要です。(69)は肯定的な回答が全国平均とほぼ差はありませんでした。

保護者の皆様、地域の皆様には今年も本校教育活動に対するご理解、ご協力を賜りたいへん感謝いたしております。ありがとうございました。
良いお年をお迎えください。

北陽中学校職員一同